

（3）余震域内で発生した地震のうち震度 1 以上を観測した地震の推移

東北地方太平洋沖地震発生前後 3 年間に震度 1 以上を観測した地震の震央分布図を図 3-1 に示す。また、余震域（図 1-1 の領域 a）内で発生した地震のうち震度 1 以上を観測した地震の M-T 図を図 3-2 に、月別回数を図 3-3 に示す。

東北地方太平洋沖地震の余震活動は、時間の経過と共に低下してきているが、この 1 年間の変化はゆるやかになってきた。2014 年 3 月には震度 1 以上を観測する地震が 1 ヶ月間に 80 回程度発生している。この数は東北地方太平洋沖地震発生前と比べると約 4 倍であり、依然活発な状態である。

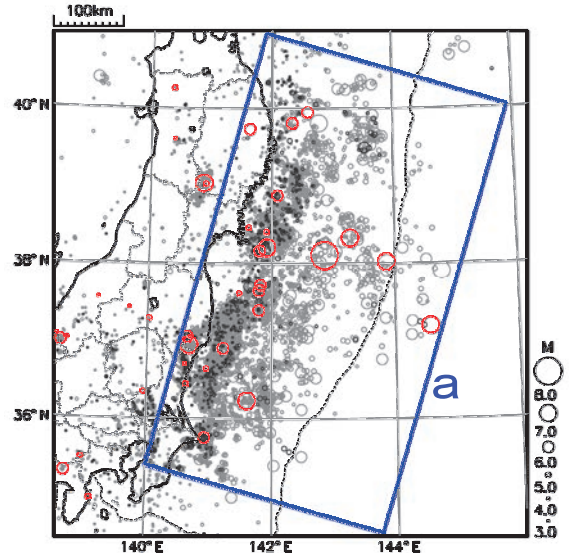


図 3-1 震度 1 以上を観測した地震の震央分布図
 (2008 年 3 月 11 日～2014 年 3 月 11 日)
 2013 年 3 月 11 日以降の地震を濃く、被害の報告があった地震を赤く表示。領域 a の範囲は図 1-1 に同じ。

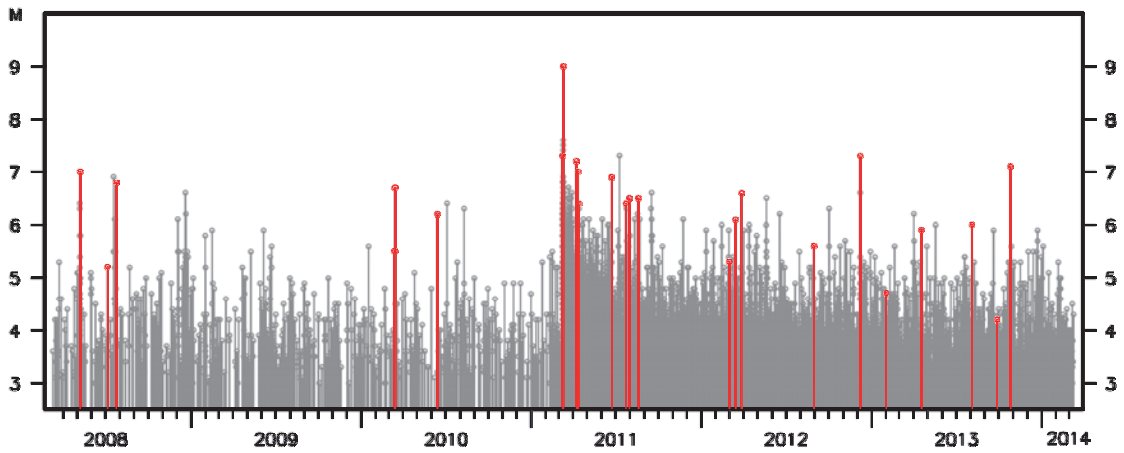


図 3-2 余震域（図 1-1 の領域 a）内で発生した地震のうち震度 1 以上を観測した地震の M-T 図（被害の報告があった地震を赤で示す）

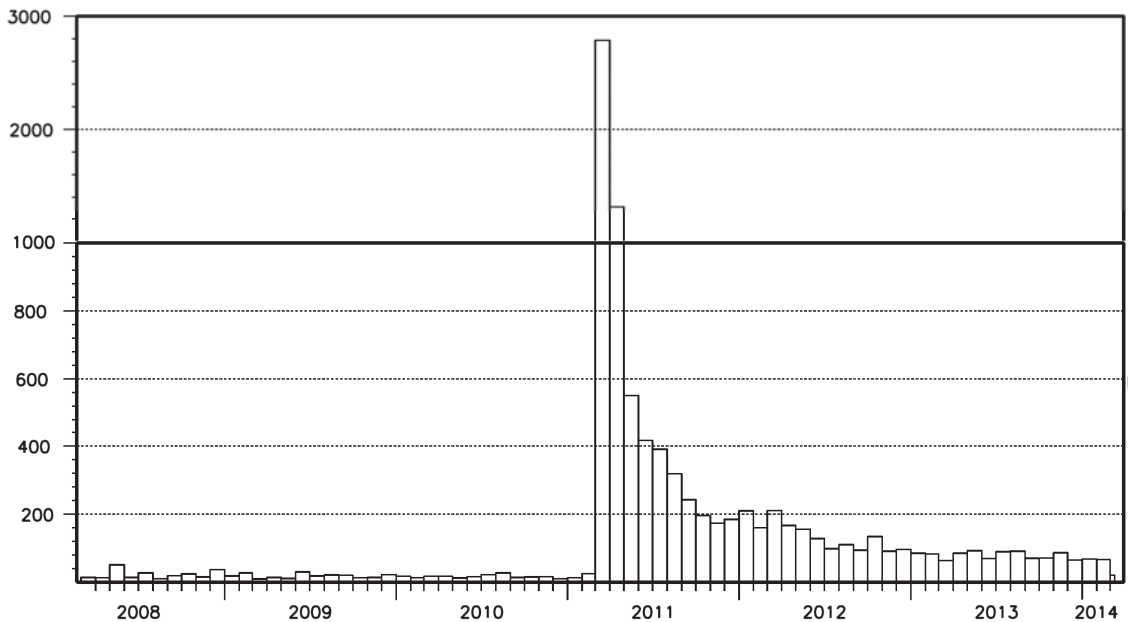


図 3-3 余震域（図 1-1 の領域 a）内で発生した地震のうち震度 1 以上を観測した地震の月別回数（1000 回以上と以下ではスケールが異なる）